

COMMONS PAGE

by 三井のオフィス



挑み続ける独立時計師

菊野昌宏

貫くことで見出した
自分にしか成し得ない
唯一無二の手仕事

2019 No.006
TAKE FREE

COLORFUL WORK PROJECT

これからの働き方とは。
皆さまの声を紹介

COLORFUL NOW

親と子、どちらも
楽しめるイベントを目指して

commons-web.jp

INTERVIEW

COLORFUL WORKER

独立時計師
菊野昌宏

1983年北海道生まれ。高校卒業後、陸上自衛隊に入隊。2005年、自衛隊を除隊し、ヒコ・みづのジュエリーカレッジで時計づくりを学ぶ。2011年、AHCI（独立時計師協会）に日本人で初めて準会員として入会、世界最大の宝飾と時計の見本市「バーゼル・ワールド」に初出展。2013年、AHCI正会員に昇格。



究極の手作業は

“価値”になる。

体当たりで切り拓いてきた、

独立時計師への道

機械式時計に魅せられて

時計職人の道を志した菊野昌宏さん。

世界に30人しかいない

独立時計師の一人として、

すべての工程を手作業によって作る時計は、

ときに500万～2000万円で取引されることも。

自分らしい仕事を突き詰めてきた先に

見えてきたものとは、何だったのでしょうか。



全体のコントロールも
手作業も、
全部やるからおもしろい。

高校卒業後、やりたいことも見つからず、陸上自衛隊で整備の仕事をしていた菊野昌宏さん。ある時、上司に見せてもらった機械式時計に魅せられ、スイスの独立時計師の存在を知りました。「自分でも作ってみたい」と、自衛隊を辞めて専門学校に入学するも、当時学べたのは機械式時計の修理スキルだけ。在学中にスイスの工房を見学する機会もありましたが、個人ではとても手が届かない高価な設備を見て、途方に暮れるばかりだったそうです。

そんな菊野さんの転機となったのは、和時計を分解する様子を収めたドキュメンタリー番組でした。ヤスリだけで削り出された365歯の歯車を見て、「昔の人にできるなら、できないはずはない」と、独学で時計づくりを始めたのです。西洋式時計とはまったく異なる和時計の世界には、江戸時代から大事にされていた日本独自の時間概念が宿っています。それを日本人の手で腕時計にしたいという思いがあったのだといいます。

「自衛隊の経験で気付いたのは、人はいつ死ぬかわからない、人の能力には大きな差はない、失敗してもいい、という3つでした。運動

が好きじゃない自分でも訓練である程度のレベルに達することができたことは、人の能力に大差はないんですね。それなら、自分が本当に好きなことをやろうと思いました」

時計づくりの工程は、細かな作業だけではありません。アイデアや仕組みを考え、それを形にする設計書を作って実際に加工する。既存の時計を分解し、英語の本と格闘しながら、トライアンドエラーの繰り返しです。しかし、経営者のように広い視野で俯瞰する一方で、細かな部品製作も自分で行うなど、全体を自分でコントロールできることがおもしろいのだとか。

「人間の身体には、手や足、目や耳があり、いろいろなことができますよね。何かに特化するのはいらない気がします。“自分一人、身体ひとつで色々なことができます”という実感が、満足感につながっています」



大量生産の時代にあえて、
人間にしかできないことを
突き詰める

菊野さんが独立時計師になって以来、人の手に渡った時計は10本余り。すべてが手作業のため、1年に1～3本しかできません。プロトタイプはあるものの、作りながらお客さまとやりとりをし、会話の中で得たヒントを反映しながら最終的な形に上げていきます。

「時計は僕より長生きして、その間に持ち主が変わるかもしれません。でも、最初に手にする方が得られる喜びは特別ですよ。だから、その人のために作ったプロセスを感じてもらえるように、時計ができるまでの過程を写真に収めて、本にしてお渡ししています」テクノロジーが発達して、肉体だけでなく頭脳まで機械に負けそうな時代に、人間がどんな価値を提供できるのか。時計づくりを始めたときから、そう自問してきました。

「僕の時計は、作り手の顔が見える究極のもの。性能の良いクォーツ時計が1,000円で買えるのに、自分の能力を使って生み出す、1年に1本の面倒な時計に

魅力を感じる人がいる。そこに機械生産とは違う価値があると思います。いつか誰かが時計を開けた時、美しい時計だと感じてもらえたらうれしいですね。」

思慮深く冷静沈着である一方、好きなことには妥協しない、フクロウのような人。物事を遠観した佇まいに、時間と向き合う仕事への静かな情熱を感じます。

「先人達の残してくれた時計から刺激を受けたように、僕も未来の時計師に刺激を与えられる、そんな時計を作っていきたいです」



COLORFUL WORK PROJECT

『三井のオフィス』でお勤めの皆さまの声をご紹介します

COMMONS PAGE WEBでは先日、「夏のカラフルキャンペーン」を開催しました。
『三井のオフィス』で働く皆さまに、COLORFUL WORK PROJECT CM動画をご覧いただき、感想を募集しました。
貴重なご意見の中から、いくつかをピックアップしてご紹介いたします！

すきまフィットネス



ひと休みチャージ



私も今、ランチタイムや
残業時間を有効に使って
「すきま英会話」をしています。

早く仕事を切り上げて、
自分の趣味や勉強、
健康促進に時間を割くことが、
これからのリッチな働き方
になるでしょうね。

これからの企業が目指す姿は多様性。
「ホワイト」ではなく「カラフル」企業
なのだなあと実感しました。

CMの動物たちの
柔軟な働き方が、
自分にも実現可能かも。
という気持ちに
させられました。

動物が出社する様子も、
ある意味リアリティがあって
笑えました。猛獣のような
人もたくさんいますよね(笑)

これからもダイバーシティを
インクルージョンできるスペースを、
どんどん提案していただきたいです。

早朝に家を出て、
オフィス内のフィットネスで
軽く運動してから出社！
というのが理想です。

何かを始めるには
時間が足りないと思い
悩んでいましたが、
「すきま」でもできるなら、
自分にもできそうかも！と
希望を持つことができました。

このスタイルが浸透したら、
堂々と、空いた時間を
運動やからだを休める時間に
充てることができるように
なると嬉しいです！

ランチタイムは食事だけでなく、
休む時間にも使いたい。
社内では気兼ねしてしまうので、
ビルの共有スペースが
そのように使えるのはうれしい！

3つの働き方ができる『三井のオフィス』施設はこちら

mot.Wellness

集中力を高めるために、リフレッシュルーム
を利用したり、仕事の合間や前後に運動を
することで、健康的なからだづくりをサポート
します。ヨガなどのスタジオプログラムで
リフレッシュすることもできます。



mot.Member's Lounge

居心地の良い空間で、仕事だけでなく、勉強
にも集中して取り組むことができます。また
仕事の合間には、ゆっくり寛ぐことで気持ち
が切り替わり、その後の業務効率化にも
つながります。



※「mot.」とは「三井のオフィス for Tomorrow/Mitsui Office for Tomorrow」の略称です。「あなたの“もっと”をかなえる場所」をコンセプトに、快適な
ビジネスライフを過ごしていただくための会員制施設・サービスです。施設は特定ビルの『三井のオフィス』のテナントワーカー様のみご利用いただけます。

イベントやプレゼント情報発信中！

COMMONS PAGE WEB

COMMONS PAGE WEBへの
アクセスはこちら



『三井のオフィス』にご入居しているビジネス
パーソンに向けて、メンバー限定で参加できる
特典情報を随時、発信しています。

イベント情報



お勤め先のビルや近隣で開催さ
れるイベントをご紹介していま
す。参加者同士の交流の場所
としてもご利用いただけます。

プレゼント情報



ホテル宿泊券やイベント参加チ
ケットなど、本誌でご紹介して
いるプレゼントの応募も、
WEBにて行っております。

親子出社



保育園が決まるまでの少しの期間、
子ども同伴で出社できる環境があれば、
心の負担も軽くなると思いました！

長期休暇には
親子出社して、
子どもは宿題や
ワークショップなどが
できるようになると、
共働き世帯には
大変ありがたいです。

共働きが当たり前の今、
玄関からいってらっしゃい
ではない時代に共感！

託児施設を新設したり
職場に併設することは、
経費が発生すると思いますが、
子ども同行就業は、
企業側に経費は発生しないので
実現して欲しいです。

出産後半年で
仕事復帰できたなら、
勤が鈍らないので、
ブランクを感じることなく
仕事復帰できそう！

他にもコメントたくさん

在宅勤務や会社以外の場所で仕事が
できるようになることは素晴らしいですね。
出勤管理などをどのようにするのが鍵ですね！

働き方改革という試みが、
民間レベルまで
落ちてきている例は
少なく感じています。
うまくいく事例になると
非常に良いと思います。

朝早く出社することが
よしとされる日本の
会社風土のなかで、
時間をずらして
夜間に働いている
夜行性の鳥の働き方が、
うれしかったです！

業務の効率化という
観点ではなく、
人生においての働き方
のバランスに焦点を当てた
CMに共感を覚えました。

CMで紹介している
働き方が実現されている
事例を知りたい！

CMで流すことによって、年配の世代の人たちにも、
働き方革命や多様なライフスタイルを
伝えられる良いきっかけになりますね。

選択できるオプションは多いほうが、
働きやすさに繋がると思います。

いま社会人が求めている
環境が揃っている
『三井のオフィス』の物件は
とても魅力的だと思いました。

事業所内託児所サービス

現在『三井のオフィス』では、日本橋、新宿、
霞が関の3ヶ所のビル内に保育所を開設し
ています。対象は0歳～5歳。もし自宅近
くの保育所に入れなかったとしても、安心し
て復職できるようサポートします。



657にもおよぶコメントをいただき、
誠にありがとうございました！！

※紙面の関係上、すべてのご意見をご紹介できず、また内容を一部要約させていただいております。ご理解いただけますと幸いです。

COLORFUL NOW

『三井のオフィス』で働く人たち

ワークスタイルは
「なるべくシンプル」。
余白は別のところに生かす。



株式会社 JTB
企画開発プロデュースセンター
グローバルビジネス推進
高橋 佑典 さん

2019年8月、霞が関ビルディングにてファミリーデーが開催されました。ファミリーデーとは、「普段、ご家族が働いている『三井のオフィス』を見てもらう」との趣旨で開催されたイベントです。親子向けのワークショップやスタンプラリー、テナント企業のブースによる企業紹介が行われました。

高橋佑典さん率いる株式会社 JTB もイベントに参加し、JTB が提供する子ども向けプログラム「旅いく」事業の紹介を行いました。「旅いく」とは、職人仕事の見学会や稲刈り体験など、その道のプロと一緒に本物体験を通じて、生きる力の芽を育てるプロジェクトです。

「ただ単に事業紹介をしてもおもしろくないと思っていたので、子どもが楽しめる、大人にはお子さまの様子を気にせず、じっくり話を聞いてもらえるようにしようと考えました」

そこで生まれたのが、両者がそれぞれ楽しめる2種類のプログラムでした。大人が事業紹介を受けている間に、子どもたちには世界の動物の「おえかき・塗り絵」を楽しんでもらい、完成した塗り絵は、絵はがきとして後日ご自宅にお送りしたそうです。

「旅の思い出のように、帰った後に『こんなことやったね』って思い返してもらえるといいと思って。このイベントで初めて『旅いく』を知っていただいた方もいて、出展して良かったです」

出展の準備を通じて、普段は別の仕事をしている部署のメンバーとのコミュニケーションが増えたことも思わぬ収穫でした。

「仕事でもプライベートでも色々な分野の人と話ができた方が、アウトプットが広がりますよね。今回のようなイベントはもちろん、オフの時間でも、専門家に気軽に話を聞けるイベントに行ってみたいですね」

そんな高橋さんのワークスタイルのポリシーは、「シンプルにすること」。例えば、メールを書く際も、同じ内容を2回

言っていないか、チェックするのを欠かしません。

「伝えようとして情報を多くすると、複雑になって伝わらなくなる。それに、シンプルにすることで無駄がなくなり、その分、時間も生まれますよね」

高橋さんのシンプル哲学は徹底しています。

「通勤の時は“手ブラ”。スマホとペン、定期と財布をポケットに入れるだけです。」

「困ることは？」と尋ねると、「通勤にバッグは必要ないし、メリットの方が大きい」とか。「みんなが荷物を持たなければ、通勤電車は10%ぐらい空きますよね」と笑う高橋さん。無駄を省いて、必要なところに時間をかける。そんな姿勢が、クリエイティブな仕事を生む秘訣のようです。

『三井のオフィス』ファミリーデー



『三井のオフィス』では、「COLORFUL WORK PROJECT」のひとつとして、ワークライフバランスの実現を目的に、家族との絆を深める「ファミリーデー」を開催しています。ビル全体で取り組むことにより、自社だけでなくテナント同士が交流を深め、共創していくことで、イベントの内容の拡充を図っています。今回は2020年2月29日(土)の開催を予定しております。詳細は決まり次第、COMMONS PAGE WEB でご案内します。

※写真は2019年8月『三井のオフィス』のファミリーデー in 霞が関の様子

ワーカー・ススムくんの カラフル★オフィス日和

—— 地域活性の新拠点！日本橋の屋根はおっきいどー！！〈大屋根広場〉篇 ——

illustration: JOE OKADA



登場人物



ソノサキ ススム

日本橋エリアで働く『三井のオフィス』のワーカー。新しくオープンした商業施設は初日に並ぶ主義。「東京初出店」という言葉に弱い。

課長

ススムくんの上司。地方物産展をこよなく愛するグルメ人。年末年始になると、ふるさと納税のことで頭がいっぱいになる。

大屋根広場

日本橋に新しく開業した複合施設「日本橋室町三井タワー」の象徴とも言える巨大な屋根のある広場。緑豊かな広場を中心とした、賑わいのあるまちづくりを三井不動産は大切にしています。

INFORMATION

『三井のオフィス』冬の宝くじキャンペーンをご案内



COMMONS PAGE WEB 内でお好きな賞品を選択して応募いただいた方の中から抽選で約100名様に、豪華な賞品をプレゼントいたします。この冬の運試し！自分へのご褒美に、是非挑戦してみてくださいませぬか？

期間：2019年12月2日(月)～2020年1月10日(金)

応募：COMMONS PAGE WEB から

プレゼント：

A賞：三井ガーデンホテルズ・ザ セレスティンホテルズ全国共通宿泊券(4組8名様)

B賞：三井ショッピングパーク アーバンお買物・お食事券(5,000円分×16名様)

C賞：わたくしGIFT or 鳥羽国際ホテルオリジナルセレクトギフト(3,000円相当×各40名様)

PRESENT

三井ショッピングパーク アーバン×食べログのコラボ記念3,000円分のお食事券を10名様に



三井ショッピングパーク アーバンの忘新年会が食べログとコラボ！銀座、日本橋をはじめとする都心・駅近の人気店舗171店を集結いたしました。特別企画として、「★3.5以上の太鼓判付きのお店」や「口コミで評判のお店」、さらには「飲み放題付き5,000円以内でネット予約できるお店」や「貸切・個室があるお店」をピックアップ。エリア別・価格別で人気店舗が探せる便利な機能も！

コラボ記念として、COMMONS PAGE WEB から応募いただいた方の中から抽選で10名様に3,000円分の三井ショッピングパーク アーバンお食事券をプレゼント。皆さまのご応募をお待ちしております。

期間：2019年11月1日(金)～12月23日(月)

※お食事券の有効期間は2020年5月まで

応募：COMMONS PAGE WEB から

詳細：https://tabelog.com/tieup/main/mf_shogyo19/

COMMONS PAGE

『三井のオフィス』で働く皆様に、イベントや各種ご優待のほか、仕事のヒントや生活に役立つ情報をお届けしています。(登録無料)

『三井のオフィス』で働く人に。
commons-web.jp

COMMONS PAGE



選ぼう。働き方を。

ライフスタイルが多様化している、今。
『三井のオフィス』は、新しい働き方の選択肢を増やしています。
もっと自由に、自分らしく働くことができれば、
ビジネスも、毎日、変わっていくはずだ。

COLORFUL WORK PROJECT

三井のオフィス



選ぼう①

[すきまフィットネス]

例えば、健康に気をつかいながら働く。
『三井のオフィス』は、
ジムのあるオフィスビルを増やしています。
空き時間に体を動かせば、
体力も仕事の効率もアップするかもしれません。



選ぼう②

[ひと休みチャージ]

例えば、リフレッシュしながら働く。
『三井のオフィス』は、
休憩ができる環境やサービスを増やしています。
ちょっと疲れた時にマッサージを受ければ、
気分転換できるかもしれません。



選ぼう③

[親子出社]

例えば、子どもの近くで働く。
『三井のオフィス』は、託児所がある
オフィスビルや学童サービスを増やしています。
子育てをしながら、もっと自分らしく
働くことができるかもしれません。